

ふれあいまつり



DATE : 2016.11.12sat-13sun



内容

作品展示・楽器演奏・ダンス発表・体操演技・囲碁体験・スポーツ体験・トレーニングルーム体験・健康チェック・ピブリオバトル・ブックカフェ・おはなし会・フリーマーケット・模擬店 ほか

最終日は豪華賞品が当たる抽選会を行います。参加資格はスタンプラリーで3つのスタンプを集めた方。

11月11日(金)~13日(日)は、ふれあいまつり準備・開催のため、駐車場は使用できません。ご了承ください。

ふれあいと 笑顔をつなぐ 地域の輪

スローガン

「年をとることは、若さを失うことではなく、新しいステージでの機会と強さを得ること」と、あるアメリカの小説家は言います。その言葉通り、ここで活動する皆さんは、どこまでも若々しく、生き生きとしています。交流を通して、地域の輪の中にたくさん笑顔が届いています。今年も中央本町センターで活動をするサークル団体が集い、日々の成果を作品展示や発表という形で披露します。この日を地域の皆様とともに、晴々とした気持ちで迎えられることを楽しみにしております。

若い頃に、戻ったみたい。



①

相撲甚句とは？

享保年間 300年の歴史がある伝統唄と言われており、邦楽の一種です。大相撲の巡業などで披露される七五調の雑子歌で、「ホイ」や「あくドスコイ ドスコイ」といった合の手が、唄い手と交互に響きます。特徴は伴奏が無くアカペラな事。伴奏楽器もないので身軽に活動できます。基本は語りの唄なので、ただ聞くより話として耳を傾けると、興味深い内容が聞こえてきます。

例えば雑子唄。声だしの為に唄われますが、「親の意見と茄子の花は千に一つの 無駄がない 無駄がない」などその歌詞の中には思わず笑顔になってしまうものも。「最初は合の手で、曲が切れないように見せるのが中々難しいが、綺麗に響くとエコーが美しい」と楽しそうに話してくれました。

意外な健康法

実は、相撲甚句は健康にも良いのです。腹式呼吸で唄うので有酸素運動になり、大きな声で思いつき唄うことでストレス発散にもなります。「相撲甚句の魅力は？」と聞く時、多くの会員がストレス発散に良く、実際に健康になったとおっしゃっていました。

大きな舞台で

課外活動も多く、介護施設などに出かけるともあれば、大相撲の出演として両国に行くこともあります。中でも国技館での大相撲の後、お客様に甚句を披露したのが思い出深いと話してくださいました。貴方も、大きな舞台で唄い、活躍してみませんか？



②

第74回 東京足立相撲甚句会 中央

活動日：毎月3回 月曜日 時間：13:00~16:00
入会費：1,000円 月会費：3,500円

連絡先：03-5845-3708 (林)
①練習風景：朗々とした声が響きます。
②集合写真：前段中央は、林講師。

唄い、感じる奉仕の喜び